

## 県産種雄牛「幸花久」号産子出荷セレモニー開催

平成29年11月にデビューした期待の山形県産種雄牛「幸花久」の産子17頭(去勢7頭、雌10頭)が、1月9日の最上子牛市場に上場・取引された。この日は「幸花久」産子出荷セレモニーの後、初セリが行われ、マスコミ関係者が大挙押し寄せる中、注目の上場1号牛が1,317千円(税込)で取引されると家畜市場内は熱気に包まれた。

これまでの取引結果は下表のとおり。出荷月齢が比較的若い子牛が多かったが、「幸花久」産子は発育も良好で、体重 kg 単価は平均を上回った。31年以降も上場頭数が大幅に増えることから、県内子牛市場の活性化につながるものと大いに期待される。

表 山形最上市場(12/5、1/9)および置賜子牛市場(12/7)の取引結果

	頭数	日齢 (日)	体重 (kg)	価格 (千円;税込)	体重/ 日齢(kg)	価格/ 日齢(円)	価格/ 体重(円)
「幸花久」去勢平均	21	241	260	804	1.08	3,361	3,103
「幸花久」雌平均	15	255	230	663	0.91	2,781	2,876
去勢平均	342	266	295	788	1.11	2,995	2,689
雌平均	252	268	268	742	1.00	2,781	2,787

上場1号牛 249日齢,体重282kg



上場1号牛の取引



「幸花久」生産者へ感謝状贈呈



↑ 写真は全農山形最上子牛市場(H31.1.9)

(ウラ面に発育データ)

## 「幸花久」産子の発育状況（速報 2）

12月5日の最上子牛市場5頭を皮切りに、12月7日の置賜子牛市場に14頭、1月9日の最上子牛市場に17頭と計36頭の「幸花久」産子（以下、産子）が上場、畜産試験場では、全産子について上場時に測尺しており、その結果は以下のとおりであった。産子は、性別にかかわらず平均以上の良好な発育を示しており、特に去勢のほとんどで上限前後の体高であった。今後も産子の発育性調査を継続し、県産種雄牛「幸花久」のPRに努めていく予定である。

図 「幸花久」産子上場時の性別体高、胸囲、体重（比較：全和発育曲線）

